

演習の目的

本演習では湯沸しポットを題材として、
限定された性能の下で適切な動作を行わせる
組込みソフトウェア開発の一連の流れを体験します。

モデリングの三要素

要求分析

要求からシステム化の範囲を明確にする

システム分析

システムの構造や振る舞いを明確にする

設計

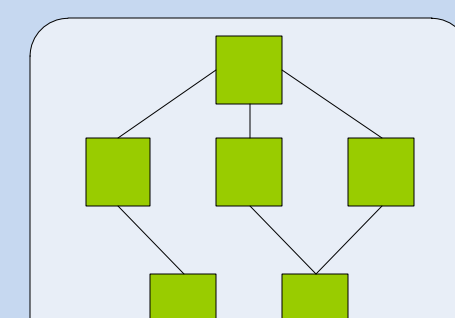
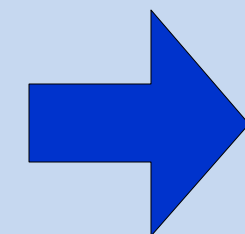
システムの実現方法を明確にする

適用

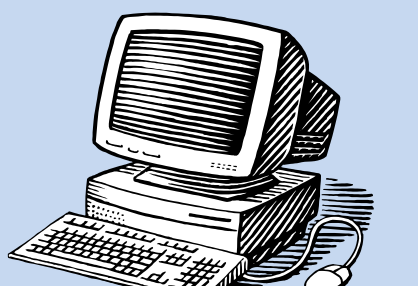
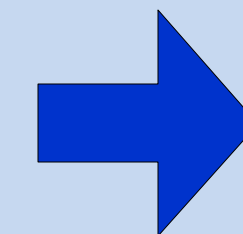
モデリングによるソフトウェア開発



仕様書



モデル



プログラミング

モデリング導入による利点

問題の明確化

情報の共有

認識の共通化

湯沸しポットシミュレータにおける組込みソフトウェアの実装

本演習ではH8マイコンを搭載した
湯沸しポットシミュレータ上で提示
された仕様を満たすソフトウェア
を開発します。

仮想環境上のLinuxでプログラミング、
コンパイル、実機への転送を行います。

